

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4266820号
(P4266820)

(45) 発行日 平成21年5月20日(2009.5.20)

(24) 登録日 平成21年2月27日(2009.2.27)

(51) Int.Cl.

F I

A 4 1 H 37/00 (2006.01)

A 4 1 H 37/00

E

請求項の数 6 (全 5 頁)

(21) 出願番号	特願2003-522330 (P2003-522330)	(73) 特許権者	504060975
(86) (22) 出願日	平成14年6月28日 (2002.6.28)		ヘルムート フライ
(65) 公表番号	特表2004-538394 (P2004-538394A)		ドイツ連邦共和国 フェルクリンゲン ビルケンヴェーク 16
(43) 公表日	平成16年12月24日 (2004.12.24)	(74) 代理人	100061815
(86) 国際出願番号	PCT/DE2002/002347		弁理士 矢野 敏雄
(87) 国際公開番号	W02003/017797	(74) 代理人	100094798
(87) 国際公開日	平成15年3月6日 (2003.3.6)		弁理士 山崎 利臣
審査請求日	平成17年2月25日 (2005.2.25)	(74) 代理人	100099483
(31) 優先権主張番号	201 13 350.4		弁理士 久野 琢也
(32) 優先日	平成13年8月20日 (2001.8.20)	(74) 代理人	100114890
(33) 優先権主張国	ドイツ (DE)		弁理士 アインゼル・フェリックス＝ラインハルト
		(74) 代理人	230100044
			弁護士 ラインハルト・アインゼル
			最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ターボリン状または布状の処理したい対象物のための保持体

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ターボリン状または布状の処理したい対象物のための保持体において、処理したい対象物（８）の少なくとも１つの部分を、当該保持体に結合可能な処理ヘッド（６）に引離し可能に圧着するための手段（５，５ａ，５ｂ）が設けられており、該手段が、操作レバー（４）を介して緊締位置から移動可能であり、かつ当該保持体が、操作従業員の一方の手のための第１の保持グリップ（２）と、操作従業員の他方の手のための第２の保持グリップ（３）と、第２の保持グリップ（３）の手の届く範囲内に前記操作レバー（４）とを有していることを特徴とする、ターボリン状または布状の処理したい対象物のための保持体。

【請求項 2】

引離し可能に圧着するための手段（５，５ａ，５ｂ）が、処理ヘッドの方向に予負荷された曲げ部材（５ａ）として形成されている、請求項 1 記載の保持体。

【請求項 3】

曲げ部材（５ａ）が線材、特にばね鋼線材から成っている、請求項 2 記載の保持体。

【請求項 4】

引離し可能に圧着するための手段（５，５ａ，５ｂ）が、処理ヘッド（６）の方向にばね（７）によって張設された圧着エレメント（５ｂ）として形成されている、請求項 1 記載の保持体。

【請求項 5】

保持体が、その上側に、処理したい対象物（８）の少なくとも１つの部分を引離し可能に圧着するための手段（５，５ａ，５ｂ）を有している、請求項１記載の保持体。

【請求項６】

処理ヘッド（６）が、アイレットの取除きもしくはアイレットの取付けおよびターボリンの穿孔のための装置の一部であり、かつ対象物（８）が、アイレットを備えたターボリンもしくはアイレットを備えたいターボリンである、請求項１記載の保持体。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【０００１】

本発明は、ターボリン状または布状の処理したい対象物のための保持体に関する。

10

【０００２】

本出願人の国際公開第９９／２６５０６号パンフレットに基づいて、アイレットを特に繊維ウェブまたはプラスチックウェブから取り除くための装置が公知である。この装置によって、アイレットに対応する繊維ウェブまたはプラスチックウェブに取り付けることもできる。

【０００３】

ただし、処理動作中に繊維ウェブまたはプラスチックウェブを固定的に保持することは困難であり、このことによって、一方では不正確な作業が生じ得ると共に、他方では処理サイクルが著しく遅延させられることがわかった。したがって、本発明の課題は、ターボリン状または布状の対象物がその処理中に保持され得ようになっている装置を提供することである。

20

【０００４】

前記課題は、本発明によれば、処理したい対象物の少なくとも１つの部分を、当該保持体に結合可能な処理ヘッドに引離し可能に圧着するための手段が設けられており、該手段が、操作レバーを介して緊締位置から移動可能であり、かつ当該保持体が、操作従業員の一方の手のための第１の保持グリップと、操作従業員の他方の手のための第２の保持グリップと、有利には第２の保持グリップの手の届く範囲内に前記操作レバーとを有していることによって解決される。

【０００５】

この装置によって、処理したい面状の対象物が確実に保持され得るので、処理時間が短縮され、かつより良好な精度が達成可能となる。

30

両手で操作することによって、当該装置の重量は、比較的長い時間にわたってより容易に受容され得、さらに、保持装置は、一方の保持グリップの範囲内に配置された操作レバーを介して開かれ得る。

【０００６】

本発明の１実施態様は、引離し可能に圧着するための手段が、処理ヘッドの方向に予負荷された曲げ部材として形成されていることにある。

【０００７】

この曲げ部材は、標準状態では、面状の対象物を処理ヘッドに圧着し、かつこの対象物を、処理動作中、固定する。次いで、曲げ部材は、操作レバーを介して緊締位置から移動させられ、面状の対象物は（次のアイレットまで）さらに移動させられ得るかまたは別の面状の対象物と交替させられ得る。

40

【０００８】

この場合、曲げ部材が線材、特にばね鋼線材から成っていると、有利である。

【０００９】

本発明の別の実施態様は、引離し可能に圧着するための手段が、処理ヘッドの方向にばねによって予負荷された圧着エレメントとして形成されていることにある。

【００１０】

この場合、機能形式は同様であるが、ただし、曲げ部材の予負荷は、圧着ばねの張力で代替される。

50

【 0 0 1 3 】

同じく、保持体が、有利にはその上側に、処理したい対象物の少なくとも 1 つの部分を引離し可能に圧着するための手段を有していると、有利である。

【 0 0 1 4 】

本発明の枠内では、処理ヘッドが、アイレットの取除きもしくはアイレットの取付けのための装置の一部であり、かつ対象物が、アイレットを備えたターボリンもしくはアイレットを備えたいターボリンであることが考えられている。

【 0 0 1 5 】

当該装置の利点は実質的に、アイレットの取除きもしくはアイレットの取付けのための装置との組合せにおいて、アイレットの取付けにせよ取外しにせよ、ターボリンの、明らかにより迅速なひいてはより経済的な処理を可能とする、容易に操作され得る装置が提供されることにある。

10

【 0 0 1 6 】

以下に、本発明の実施例を図面につき詳しく説明する。

【 0 0 1 7 】

図 1 および図 2 に示されているように、本発明による装置はボディ 1 を有しており、このボディ 1 はその下側に、操作従業員の一方の手のための第 1 の保持グリップ 2 と、操作従業員の他方の手のための第 2 の保持グリップ 3 とを有している。ボディ 1 は、さらに、操作レバー 4 を有している。この操作レバー 4 は第 2 の保持グリップ 3 の手の届く範囲内に配置されており、この操作レバー 4 を介して、引離し可能に圧着するための手段 5 が引き離され得る。

20

【 0 0 1 8 】

引離し可能に圧着するための前記手段 5 は、例えば、アイレットの取除きもしくは取付けのための装置の処理ヘッド 6 の方向に - 特にターボリンの穿孔に際してこのターボリンを精確にセンタリングするために - 予負荷された、例えばばね鋼線材から成っていてよい曲げ部材 5 a として形成されていてよい (図 1)、またはばね 7 によって処理ヘッド 6 の方向に張設された圧着エレメント 5 b として形成されていてよい (図 2)。

【 0 0 1 9 】

両事例では、ターボリン状または布状の処理したい対象物 8 は、標準調節時に処理ヘッド 6 に向かって面状に位置固定され、操作レバー 4 の操作に際して、この緊締調節が解消される。

30

【図面の簡単な説明】

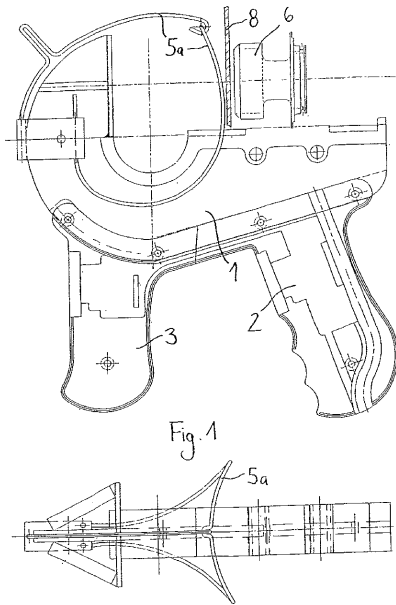
【 0 0 2 0 】

【図 1】予負荷された曲げ部材を備えた、本発明による装置である。

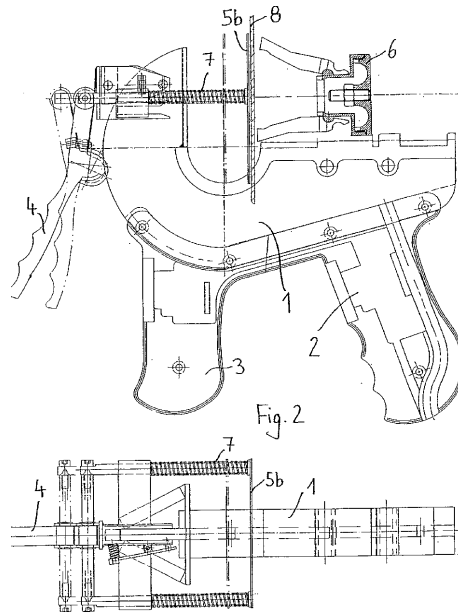
【 0 0 2 1 】

【図 2】ばねによって張設された圧着エレメントを備えた、本発明による装置である。

【図 1】



【図 2】



フロントページの続き

(72)発明者 ヘルムート フライ
ドイツ連邦共和国 フェルクリンゲン ビルケンヴェーク 16

審査官 渋谷 善弘

(56)参考文献 国際公開第99/026506(WO,A1)
米国特許第05488767(US,A)
米国特許第01945892(US,A)
米国特許第02518545(US,A)
実開昭61-069227(JP,U)
実開昭59-173600(JP,U)

(58)調査した分野(Int.Cl.,DB名)
A41H 37/00